

令和6年能登半島地震における 災害対策資機材を活用した救出救助(石川県珠洲市等)

5か年加速化対策

災害時の効果発揮事例

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

概要: 石川県珠洲市・輪島市において、令和6年能登半島地震による安否不明者を夜間に捜索するため、5か年加速化対策により整備した小型投光器を使用し、夜間の捜索・救助活動を効率的に実施することで安否不明者を発見・救出した。

対策名: 34-1 警察における災害対策に必要な資機材に関する対策<5か年加速化対策>【警察庁】

- 実施主体: 警察庁、警視庁、福岡県警察等
- 実施場所: 石川県珠洲市・輪島市等
- 事業概要: 災害時に夜間における救出救助や捜索等の活動のために必要な資機材(小型投光器※約100式)の整備を実施する。

- 事業費: 約1.0億円
(うち5か年加速化対策による事業費約1.0億円)

- 効果: 石川県内では、多数の家屋が倒壊し、多くの要救助者が救助を待っていたことから、警察では、日没後も救出救助活動を懸命に実施した。

警視庁及び福岡県警察は、石川県珠洲市内において、夜間に安否不明者を捜索するため、5か年加速化対策により警察庁から全国警察に配備された小型投光器※を有効に活用し、倒壊した家屋内に取り残されていた安否不明者を発見・救出した。

- ※ 夜間における救出救助活動の際に、使用する小型照明無影灯(手元に影ができない照明)かつ小型で運搬が容易であり、夜間の救出救助活動の際の照明確保に有効である

小型投光器を使用した救出活動



小型投光器



小型投光器

